

平成27年 8月31日
九州地方整備局

平成27年9月1日に九州防災・火山技術センターに 『土砂災害対策分室』を設置します。

【概要】

- 九州地方整備局では、平成24年に大規模災害時における対応の一層の高度化・円滑化を図るため、福岡県久留米市に「九州防災センター」を設置、平成25年には、火山防災技術の高度化・効率化をより一層推進するため、火山技術部門を追加し、「九州防災・火山技術センター」として機能強化・拡充を進めてきました。
- この度、近年頻発する土砂災害に迅速・的確に対応するため、川辺川ダム砂防事務所（熊本県球磨郡相良村）に新たに九州防災・火山技術センター『土砂災害対策分室』を設置します。

○土砂災害対策室の主な取り組み

①技術開発

川辺川流域の急峻な山地部を活用して、土砂災害対策に有用な機器の開発・運用方法の開発を実施

②研修・訓練の実施

職員を対象に大規模土砂災害発生時の緊急調査等の実地訓練を実施

③避難に関する住民・自治体支援

九州山地内に位置するモデル地区において、自治体を対象とした訓練等の実施と検証

④地域単位での連携方策検討

現場レベルでの連絡会議や合同訓練の開催、関係機関の役割分担表の作成・共有等、出先機関の連携強化のための取り組みを実施

- 下記のとおり、土砂災害対策分室の開所式を行います。

記

■日時：平成27年9月4日（金） 11時～12時

■場所：川辺川ダム砂防事務所 玄関前

〒868-0095 熊本県球磨郡相良村大字柳瀬3317

■内容：挨拶、看板設置

※開所式とあわせて、災害対策用機械等の展示を行います。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局

分室設置について： 企画部 企画課長 中根（内線 3151）

電話：092-471-6331（代）

開所式について： 川辺川ダム砂防事務所 技術副所長 鬼塚（内線 204）

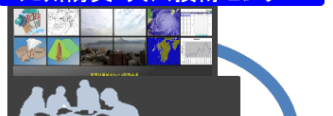
電話：0966-23-3174（代）

九州防災・火山技術センター(久留米)

■大規模災害対応(地震、津波、豪雨等)

- 整備局本局と同等の防災室を持ち、バックアップセンター機能
- 地の利を活かし、災害対策用機械の集積拠点機能
- H24九州北部豪雨を踏まえた、災害時の資材備蓄拠点機能
- 実践的な防災訓練等の企画・運営機能、防災技術の開発機能
- 自治体への防災対策技術支援機能

九州防災・火山技術センター



BCP(バックアップ)

九州地方整備局 防災対策室

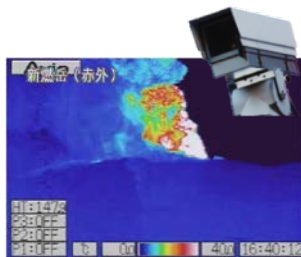


■火山防災対応

- 火山が集中する九州の地域特性を活かし、火山防災技術については、全国の技術開発拠点(緊急調査、応急対策、観測機器等)として運用
- 火山災害等に関する研修・訓練の実施



ヘリによる降灰状況調査



火山噴火監視カメラ



自動降灰量計

土砂災害対策分室(川辺川ダム砂防事務所)

■土砂災害対応

①技術開発

- 川辺川流域の急峻な山地部を活用して、土砂災害対策に有用な機器の開発・運用方法の開発を実施。
 - ・砂防GISを活用した緊急調査用タブレットの開発
 - ・砂防パトロールカーの中型ヘリでのつり下げ空輸方法の開発
 - ・GPS、レーザー計測器等を活用した土砂災害緊急調査方法の開発



パトロールカーの吊り下げ状況

②職員の技術力向上のための研修・訓練の実施

- 川辺川流域の急峻な山間部を活用して、職員を対象に大規模土砂災害発生時の緊急調査や溪流点検の現地訓練の実施。



レーザー計測器を用いた緊急調査訓練

③避難に関する住民・自治体支援

- 九州山地内に位置するモデル地区(熊本県球磨村、水上村、五木村等)において、自治体を対象とした訓練等の実施と検証。
- 住民・自治体向け勉強会・研修会の開催



避難訓練実施状況



住民との意見交換

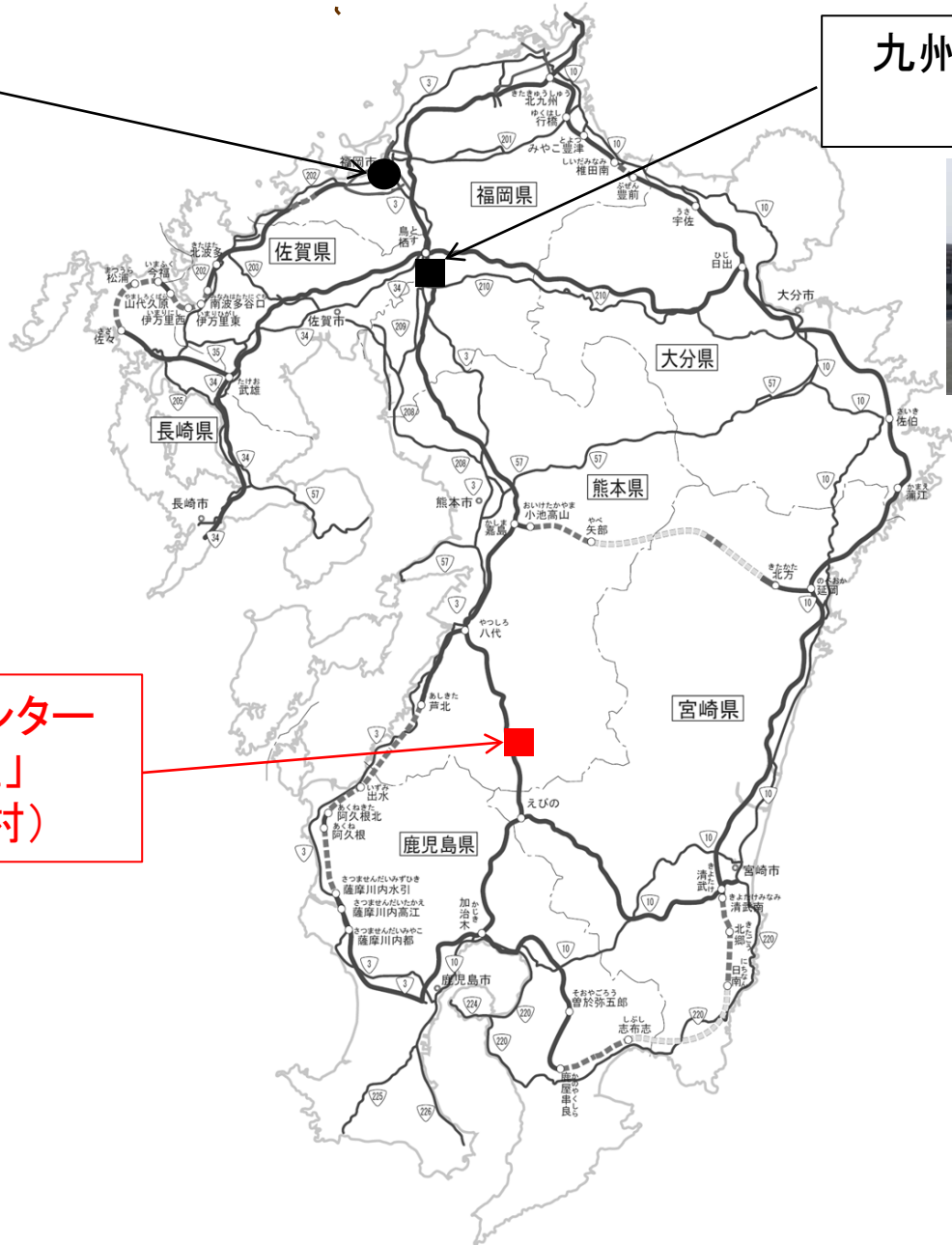
④地域単位での連携方策検討

- 現場レベルでの連絡会議や合同訓練の開催、関係機関の役割分担表の作成・共有等、出先機関の連携強化のための取り組みを実施。

九州防災・火山技術センター「土砂災害対策分室」位置図

九州地方整備局
(福岡県福岡市)

九州防災・火山技術センター
(福岡県久留米市)



九州防災・火山技術センター
「土砂災害対策分室」
(熊本県球磨郡相良村)



凡 例	
高規格幹線道路	
供 用 中	——
事 業 中	■■■■

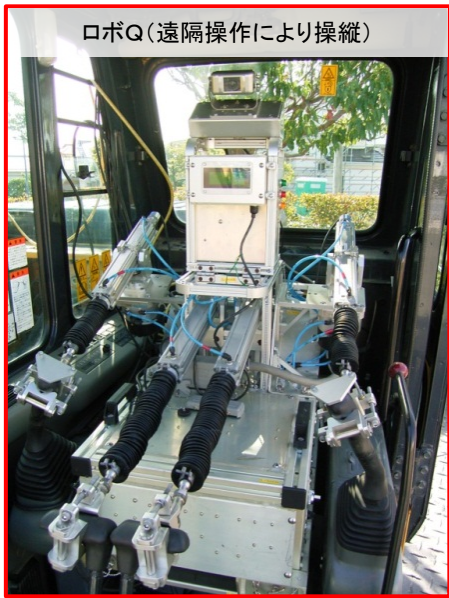
■災害対策用機械

H27.6 口永良部島噴火対応(屋久島)



陸上自衛隊CH-47への積載状況

狭隘な道路でも走行可能で、災害で道路が途絶した山間部の現場にも空輸可能な小型パトロールカー



ロボQ(遠隔操作により操縦)

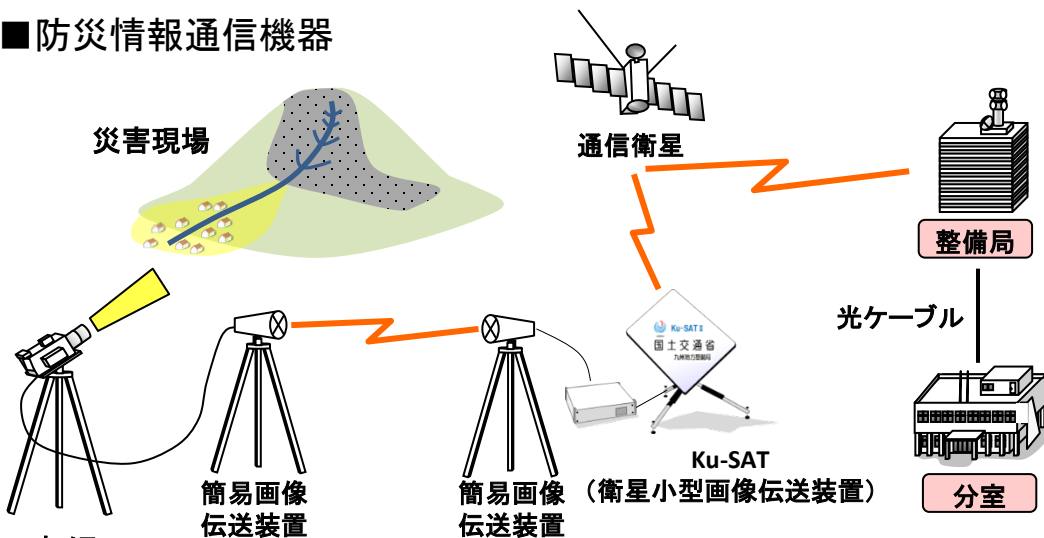


危険箇所でも遠隔操作により作業が可能

操作席に搭載

ロボットアーム式簡易遠隔操縦装置「ロボQ」

■防災情報通信機器



簡易画像伝送装置

簡易画像伝送装置と衛星通信と組み合わせることで、山間部からも詳細な映像伝送が可能